

みうらトーク & トーク 2009 年度第 3 回

日 時 平成 21 年 8 月 26 日 (水)

15 時 00 分から 16 時 00 分

参加者 みうら観光ボランティアガイド協会 8 名、市側 4 名

テーマ 「観光事業および観光ボランティアについて」

(1) 市内の観光マップについて、安価なもので無料配布できるものを作成してほしい。

(2) 下町商店街での駐車場について確保してほしい。

(3) 魚市場の見学について市のホームページに掲載しているが、見学について無制限に受入をしており、みうら観光ボランティアガイド協会の案内と直接見学に来場される方とバッティングしてしまう場合があるので、秩序ある受入れをいてほしい。

(4) 神奈川県漁業協同組合連合会三崎加工場（魚市場に隣接）を学校で見学したい希望がある。見学する場合どのように申し込みをしたらよいか。

(5) 「うらり」の 2 階の部分、海業プレイスを軽喫茶店とか食事ができるようにはならないのか。

(6) 城ヶ島マンション計画はその後どうなったのか。また、景観条例はどうなっているか。

団 体 みうら観光ボランティアガイド協会

団体の紹介 三浦市の恵まれた自然や、歴史・文化遺産を来遊客に広く紹介し、観光振興や町づくりに貢献することを目的としている。ガイドは無料で行っている。



➡—————➡
<意見交換>

市長 ではいただいた話で、今の状況など話をした方がいいでしょうか。

市民 我々がやってきたこと、実績についてちょっとお話ししたいので、お配りした資料について簡単に説明して、こんなことをやっているんだということを理解していただきたいと思います。

プリントを用意したんですが、19 年度と 20 年度の観光事業で、内容的にはこんな件数だということです。それから 19 年度については 5,319 人を案内しましたということでございます。特にこのなかで魚市場が 52 件、半分なんですよね。3,991 人の人にガイドをしたという、そういう数字です。20 年度、昨年ですが、

150 件、前年が 106 件ですからちょっと増えてるんですね。8,563 人。我々の方はどのくらい参加したかという、延べ人数で 213 名がガイドをしています。この年も魚市場が 89 件、6,976 人の人に案内をしているんですね。ですから他と比べて魚市場が半分を占めているということです。次に多いのが城ヶ島、そして下町、地域的にはそんなところでございます。

続いて、我々は土日・祝祭日にうらりで観光案内をしております。その集計ですが、18 年度からずっと、それぞれ 3 か月ごとにまとめて数字を出しています。18 年度は案内件数が 18,459 件、マップが 20,626 件、それから 19 年度は案内件数が 12,281 件、マップが 21,299 件。そして昨年はちょっと数が減ってるんですね。9,900。19 年度に比べてちょっと減ってきているという状況なんです。そして今年度、4 月から 6 月までの状況でございますけれども、案内件数が 2,778 件、そんな状況でございます。そんなところをまた後で見ていただいて、それぞれ何を意味しているかということをもたお尋ねできればと思っています。最後の佐原まちぐるみ博物館については、後のお話でちょっと触れたいと思います。一応数字的なことだけを頭の中に入れておいていただいて、あとはテーマごとでやってください。

市長 はい。ありがとうございます。

市民 まず、今のことでご質問があれば。

市長 うらりの観光案内所、18 年でしたか、本当はもっと立派なものを作りたかったんですけど、簡素な机というかカウンターを置いてあって申し訳ないですね。

市民 いや、でもあの方がいいんですよ。あんまり立派なものでも困っちゃうので。

市長 例えば「ご飯を食べるのに美味しいところある？」って聞かれることが多いと思うんですね。数もかなりありますよね。そういうときはご紹介するお店は上手く分散してるんですか。

市民 なるべく特定のお店は教えてないんです。「ここが美味しい」となっちゃうとまた問題になってもいけないので。

市長 なるほど。それで、その紹介をするときに、あそこ客引きも問題になっているんですね。うらりの周りで。客引きをしてしまっていて。ある店が一時問題になったんですけど、最近そこはおとなしくなって、また別のところが出てたりとかす

るんですけどね。それで下町の商店街の方に人が行かなくて、困っちゃってるなんていう状況を良く聞きます。でもボランティアの皆さんが、特定のお店を紹介してるなんてことは一切聞いてないんで、どういう風にうまく対処してるのかなと思ったんですよ。

市民 お客さんの客層があるじゃないですか。例えばご夫婦 2 人でいらしたとか。そうするとちょっと高級な物を食べたり、家族連れでいらしたら、せいぜい千円程度のものを食べたいとか。やっぱりそういうことを私たちでお聞きして、それに見合ったようなお店は「ここと、ここと、こういうお店がありますよ」というお話はさせていただきました。そうじゃないとね、どこでも美味しいですよというとなまた大変ですからね。それじゃ無責任というか不親切じゃないかと言われるので、そのお客様の要望を先にお聞きして、それに見合うお店。「ここ」と一軒は言いません。例えば「千円くらいでしたらここと、ここと、ここでこういうお店がありますよ」と、そんな言い方をしてお薦めはしています。

市長 分かりました。ありがとうございます。

市民 ただね、テレビの力っていうのは大きいんですよ。あるお店、AとかB、その名前を言って、「ここはどう行ったらいいですか」と、相手が特定してくるんですよ。我々はあるべく下町の方へ歩いてもらうような形はとっているつもりなんですけどね。多いですよ、確かに。
それと見ていただけると分かるんですけど、20 年度などでうらりの館内で、食事処がないのかと聞かれたことが 468 件あるんですよ。今年は 3 ヶ月間だけで 120 件。

市長 これは頂いたテーマにもございますので、それはきちんとお答えいたします。

市民 我々、項目はこれでいいのかなと思いながら、こんな項目で一応チェックをしてるんですけど、また他のことで調べてほしいということがもしあれば。

市長 例えば、今のお話じゃないけど、館内で「ご飯を食べるところはないんですか」という意見が多いというのは我々にとっては励みになるんですよ。色々過去の歴史があって、なかなか進まない点が多々あるものですから。ここで海業公社の関係も私が社長になったり専務を一人つけたりとか体制も変えたので、ここで方向転換ができると思うので、多少なりとも進むと思います。その話を含めて、頂いたテーマの件をざっと説明させていただきたいと思います。

まず市内の観光マップ。安価なもので無料配布できるものがないかというお話をいただいているようです。観光パンフレットというのはとても必要だし、内容の充実したものをということはやっぱり非常に議論になるんですね。予算の査定をするときにも、結構金がかかるっていうこともあるんですけど、今は観光協会が作っているものに一元化してるんですね。その観光協会に市は負担金を出して、観光協会と一緒に作るということでやっているんですね。その他にもエリアマップといって三崎口とか三浦海岸、皆さんの方がよくご存知かもしれませんが、三浦市観光情報発信協議会というのを三浦市と京急と観光協会で作っていて、京浜急行は現金で市に観光施策の費用として毎年 500 万円を寄付してくれていたんですが、ただやはり企業なので毎年黙って金を出せないということになってきたんですね。それは当たり前なんです。私もそう思います。私も企業だったら、三浦市のために毎年黙って、勝手に使っていいよなんて金の使い方はおかしいじゃないですか。だから観光情報発信協議会というのを作って、こういった事業やるから、京急もお金を出してくださいっていう形に変えたんですね。そうすると、今まで 500 万円だったものが、もっと必要になるという方向で作っていけば 700 万円なり 800 万円なり京急が出してくれる、要するに京急も出してメリットがあるような仕組みに変えていったんですよ。京急の意向とそれが合いまして、三崎口と三浦海岸の駅の近辺のマップを作ったりとか、あとは三浦半島のガイドマップとして観光協会が発行しているものとか、会議所が出してる下町マップ——うらりだと下町マップが一番出るみたいですが——あとはドライブマップといって県の道路公社が発行しているようなものをいただいたりという形にしています。色んなパンフレットが重複するということもあるかもしれないので、それは簡略化したいとは思っているんですけど、色んな都市の観光マップを見ると、市域、三浦市だったら三浦市の市域、横須賀だったら横須賀の市域というように市単位で作っています。でも、三浦半島は観光が一体じゃないですか。だから三浦半島域でやろうよという動きはあるんですね。その中に色んな、各市の観光ポイントを入れていこうという動きが今、中心の動きになっています。たとえばエリアのスポットで、三崎の下町マップなんていうものは非常に活用できると思いますし、それはこれからもぜひ、観光ガイドをしていただいでどんなマップがいいというのを、ぜひご指摘なりご指導を頂いた方が、我々もなるべく金をかけないで協議会で作ったりとか、観光協会に委託をしたりという形でやっていきたいと思っているので。もっと簡単で安いもので良いというご意見だと思うんですね。見やすくて安いものの方が使いやすいというご意見だと思うので、そのようなご意見をこれからもぜひ頂きたいと思います。現状やっているのはそのような状況で、エリアマップとして三崎口・三浦海岸と、あとは三浦半島域でのガイドマップと下町マップ、それからドライブマップと。そういった

種類なんですね。数は結構あると思うんですけど、内容について、もっと良いものにしたい方がいいよというご意見もぜひいただきたいと思います。今あるもので何か不便がありますか。

市民 下町マップありますよね。あれが商工会議所が出してくれているんですが、だいぶ店の内容が変わってきているので、ちょっと時代的に合わないですね。それから豪華すぎるんですね。立派すぎる。今は数もどんどん掃けていいよということで頂いていますから我々も惜しみなく使ってはいるんですけど、一時制限したことがあるんです。数が無いからあんまり出さないでと。

市民 コピーをしたものを出したりとかね。そうするとお客さんは非常に見にくいということでクレームもつけられました。どうしてこれ（原本）をいただけないの、とね。数を制限されたものですから。今はだいぶたくさん頂いているんですけど。

市民 裏もねなかなか豪華なんです。市長さん、資料の最後につけた佐原市の地図ですが。

市長 あんまり紙が大きいと見づらいですもんね。

市民 大きくてもダメなんですね。これは A4 で、町が小さいから済んでるのかもしれないですけど、こういうもので大丈夫なのかなと思ったりするんですよ。

市長 分かりました。協会のみなさんの活動は下町が中心になっていると思いますので、会議所とかそういうところにも相談しますよ。

市民 会議所も新しく予算がつけば、なんていう話を聞いてるんですよ。10 月頃に新しくしたいという話は聞いています。

市長 会長の方にまた相談しますよ。会議所に市でお金を出してるよね。

職員 間接的には出しています。直接、下町マップのためのという形では出してないです。

市民 下町マップが一番使いますね。それと観光の大きいマップですね。あれを持っていかれる人は観光バスの運転手とかガイドですね。それからマイカーで来た人。最近オートバイで来る人も結構いますよね。それから自転車。こういう人はやっ

ぱり欲しがります。それから三浦市で回るところで、宮川湾の食堂とか、松輪、三浦海岸、油壺。こういうところにはどうやって行くんだと聞いてくるんですね。それでマップがあればと、こういう要望が結構多いですね。ですから大きいマップはそういう形で配布をさせてもらってしまして、誰にもっていう形では出してないんですね。

市民 何でもあのガイドも制限されるという話ですね。

市民 あれもまた立派ですからね。

市民 観光協会が作ったものですね。最新の。これについても我々のところは千部位かな配布していますけど、そうすると少し小出しにしないとね。

市民 どなたにも差し上げますよっていうわけにはいかなくて。

市長 言われたら出すっていうことですね。いずれにしても要は不足させないでということですね。

市民 はい。

市民 三浦半島全体、三浦市全体、それから下町・三浦海岸・西海岸というふうエリアごとのものと三種類あるといいなと思いますね。

市長 なるほど。

市民 ですから、さっきからも出ていますように立派なものはね、要らないような気がしますね。ですから枚数出せるような割合安く出来るような内容でね、紙の質を落としてもね、これはもういいと思いますね。枚数があれば。

市長 要するに安価で、不足なくて、なおかつ三浦半島と、三浦市と、各エリアというようなイメージですね。

市民 三浦半島のエリアのあれは良いと思いますよ。保存版みたいな。釣に来るような人たちには良いと思いますけど、下町マップはね、あれだけの地図を見ると、これだけ広いのかと、はじからはじまで行っても 10 分位ですよって言うのとびっくりしちゃうんですね。あれをぱっと見て、「これは広いな」っていうイメージ

が浮いちゃって。あと店の名前が小さいでしょう。我々老眼鏡かけないと見られないけど、最近の観光客はシルバーが多いですから、主だった店は加入して、協力性のない店は載せないというようなことでピックアップした方が良いと思いますね。

市民 私旅行に行ったときにこういうようなマップがあったんです（地図を出して）。町と食堂の。それで裏に番号が振ってあって、食堂の特徴が書いてある。こういうような簡単なものでもどうかと思うんです。下町マップを縮小して食事处とお土産屋しか載っていない。限定して載っています。どうしても商工会議所っていうと、会員であればここもあそこもって載せたくなると思いますけど。そこら辺が検討課題かなと思います。

市長 分かりました。

市民 あと距離感だね。だから本当は実測を縮尺した形が一番良いんだろうね。例えばC店まで行くのに、それこそ7～8分で行きますよと言っても、地図を見るとさっきの話のようなことになるんですね。だから実際と地図がかい離している。難しいけどね。

市長 いずれにしても、多分これを作るにも色んな観光地を参考にしていると思うんですね。今はどんどん変わってますから、新たなもので、もうちょっと紙も小さくて、安く仕上げれば枚数作れるっていう感覚で会議所ともすぐ相談します。仰られた半島・三浦市・エリアっていうイメージ、揃っていると配りやすいですね。

市民 目的に応じてね。例えば北から横須賀を通過して逗子を通過して鎌倉に行きたいというときには大きい地図を、ところがこれから油壺行きたいとか城ヶ島まで自転車で行きたいよっていう時にはエリアの三浦市内の地図というように客に応じて使い分けできるかなと。

市長 分かりました。ではこの件は、今頂いたご意見も踏まえて、会議所とも調整をして、全体の観光マップっていうのもね、たぶんバランス良く考えてないと思うんですよ。今仰ったみたいに、半島・市・エリアとかっていうイメージで作ってなくて、たとえば色々なパターンで作ったりというのはあると思うので、一回整理するようにしますよ。

市民 この地図を作るのには私も少し参加してるんですけど、三戸コース、前はなかつ

たんですけど、それからこれは小松が池を中心としている形の地図ですね。

市長 それはまさしくエリアのマップで、これはこれで良いんだよね。イメージは良く分かりましたので。これから会議所、観光協会とも調整をして、来年度の予算に入りきるようなイメージでやります。

市民 それで先ほど海業でもって食事を聞かれるんだけど、あそこも色々周りのお店との関係も聞いてますけど、一番必要だと思うのは、観光バスで来るでしょう。そうすると、「ちょっとお茶の一杯でも飲みたい」という人もいますよね。

市長 その件は、後でお答えしますね。番号順で。次は「下町商店街の駐車場の確保」。下町商店街で、現状ではうらりの近辺の駐車場と、商店街の駐車場、その位しかないんですね。何か大きなイベントの時には、市役所の駐車場を開放しているんですけど、今問題点として捉えていますので、県の東部漁港事務所と調整に入っています。要は日の出の岸壁のところなんて車置き放題だし、花暮の岸壁だって車置き放題。早く置いた方が勝ちだし、勝手にポールなんかを立てているところもあるんですよ。もう惨憺たる状態なんですよ。それは今まで誰も手を付けてなかったんです。私も 4 年間の間にやろうやろうと思っていたんですけど、具体的な動きには入れなかったんです。東部漁港事務所の方と今、話をして東部のところは場所が狭いから、真っ直ぐ置けないんですよ。真っ直ぐ置くと道路に出っ張っちゃうから。それで道路は県土木、道路から入ると東部漁港事務所というように、役所の縦割りの一番悪いところで、所管が違っているんですね。花暮岸壁なんかは広いから、あそこは釣りの人なんかは岸壁にどんどん行けて金網の内側も外側も置き放題ですよ。漁港区域だから、警察の取り締まりの対象外なんですよ。うらりの前もそうなんですけど。警告はできるけど、漁港用道路だから。そんなようなこともあるんですけど、日の出の岸壁とログハウスまでの岸壁のところは管理の仕方と、有料化できるかどうかということを、今、東部と調整に入りました。ただ、すぐにというわけにはいかないだろうけど、課題を解決してやっていこうということです。それと商工会議所の建物ありますよね。あれも老朽化していて、建て替えなくてはいけないという課題があるんですね。昔警察署があったところ、あそこ土地の交換をしようなんていう話も今出ているんですよ。会議所もやっぱりお金が十分ではないので市や県になんとか出してもらいたいというスタンスなんですね。市もお金がありませんから。その調整をこれからするところなんです。なので日の出の岸壁と花暮岸壁、あの辺をきちんと整理して、駐車場として活用できるようなことが可能になれば、結構置けるんですね。

市民 そうすると下町も活性化できるんですよ。

市長 やっと動き出してきましたので、すぐに結果が出せるように頑張ります。それとうらりの近辺の駐車場の方は塩害で機械が痛んだりしているので、海業公社が管理しているんで、機械を直したりっていうのはやらなくちゃいけないということで準備をしています。ただ、うらりのゲストバースの先の荷捌き所あるじゃないですか。あっちの方を駐車場に使うのは、臨時で使うのは可能かもしれないけど、観光客用の駐車場にするっていうのはちょっと無理かもしれないですね。ただ今あるところ、広場の向こう側の駐車場と反対側の所っていうのは、活用ができるようにやりますので、ただいつまでも駐車場になっているってことはないと思うんですね。漁港の整備だとか、漁港だけで使っているのではなくて、魅力ある港づくりっていうテーマで新しい提言ももらっているんですね。県の東部漁港事務所が作った魅力ある港づくりっていう提言書をいただいて、観光も視野に入れた港づくりっていう、二町谷の活用も併せてなんですけど。二町谷の活用から、うらりのところまでの多目的な活用というのを視野に入れて準備にかかっているんですね。そうすると、後でお話しますけど、加工場を見学したいなんていうことも、あそこに新たに二町谷に移転してもらったりっていうことも事業者と相談しなくちゃいけないんですよ。今不景気で「なかなか移れない」と言っているんですけど、器を作ってそっちに移転してもらうような形で考えたいということで今色々準備してるんですが。ただちょっと時間がかかるんですね。長いこと同じことやってるんですけど。

駐車場の件は、日の出からその話を整理して、まず一步改善していこうという準備に今かかっています。

市民 そうすると今のお話だと、県道を油壺にまわる道、それと逆の方を回って帰れるということも可能なわけですよ。

市長 それは今でも可能ですよね。

市民 でもみんなこっち（油壺の方）に来ちゃうんですね。駐車場が内側にあるから。それで案内板を整理すると。

市長 向ヶ崎から毘沙門バイパスを通って帰ってもらうっていうのは一番早いんですよ。

市民 日の出のあのあたりの駐車場が確保できれば。そういう形でご案内もできます

ね。

市長 商店街の人たちにも、今徐々にお知らせしているんですね。いつまでもあそこには置けませんよということで。いきなりやると、権利ばかり主張されても困るので。徐々に商店街の人たちにも駐車場の整備を考えていますということを言っています。

市民 今市長さんが言われた日の出と入船の所の駐車場、あれは昔「ここはお客さんが専門に停める場所だよ」というような話が出て、下の本当の岸壁は乗組員とか工場、それから大工さんなんか車が来た時に置く場所だよって言って我々が返事をして、「じゃあそここのところ出っぱらしていいよ」ということでもって承知して、出来上がったら地元の者がみんな置いちゃってるんですね。そのような経緯があります。

市長 その話も伺っております。

市民 それで、3 年位前だったでしょうか、東部の方に個人的に行ってそこと花暮岸壁、それから向ヶ崎の岸壁、あれが地域の人に面倒見てもらって、駐車料金を少しでも取って、地域の収入源にして、それで岸壁掃除もしてもらうようなことはできないのかって言ったら「それはちょっとなあ」と言われたんです。

市長 今、本腰入れてやるような段取りをしてもらってますから。どっちにしても、そういうお話はあるんですけど、口約束なんですよ、全部。何も残っていないんですよ。だから昔のことをとやかく言うような人がいたら、それはそれで別に対応すればいいんじゃないかと思っています。

市民 駐車場を考えますと、今よそから来られる人は全てうらりなんですね。例えば七福神、資料の件数では 10 件なんですけど、これは案内をした件数なので、実際にはもっとあるんですね。そうしますと、その七福神で回ってきまして、海南神社を見る場合にはお客をロータリーの所で降ろしまして、バスはうらりに行きますね、ですからバスはうらりにありますから、来た人はうらりが拠点になるんですよね。ですから、例えば違うところに観光バスが入る駐車場があれば、観光客と下町の商店街との関係も、環境がまた出来ると思いますね。中にはもちろん必要になってくるわけですけどね。そういう環境的な面を整備されていくと良いですね。今はそんな形でだいたいうらりに来まして、それからうらりからあんまり出ないんですね。出ないんです。出ていく人もいますんですけども、ロータリー

のところに行きまして、それで酒屋の方に行きまして商店街の方に行くんですね。それで中に入らずに海南様の方に行くんですね。それで海南様の方に行って、B店の前で切通しを見るんです。そして中に入らないんです。それでまたうらりの方に戻ってくるようなというのが現状です。だから全てうらりが拠点になっているような形になっているんですね。

市長 うらりから公園のところ歩いて行くのに歩道が狭いんですよ。途中で急に狭くなってます。今ボードウォークの話と駐車場の話と一緒にゲストバスからボードウォークをぐるっとログハウスの方まで回す話は進めてるんですけど県が予算をつけなくて困っているんですよ。どっちにしてもその辺も並行してやっていますので。

市民 それと併せまして、今度は三崎の下町、ここが要は三崎の昔からの港町の下町だっていう所を出していければ良いんじゃないかと思うんですね。

市民 東側に拠点があればね。下町ももう少し歩くだろうという我々の思いなんです。

市長 だからC店から先の諏訪位に集客施設があれば良いんですよ。諏訪で老人ホームの話があった時に、療養施設を作ってくれって言ったんですよ。スパみたいなのあるじゃないですか。ちょうど北条湾の脇の駐車場のところに。結局話は潰れたんですけど。

市民 視察へ行きました佐原市は拠点となるような施設が2つありましたね。ひとつは伊能忠敬の記念館。もうひとつは交流会館というのがありまして、その間結構距離はあるんですけど、その間には昔の蔵造りの商店街があるとかですね。この2つによって観光客が動くんですね。

市長 分かりました。それでは駐車場の件は、そのような状況です。
次に魚市場の見学で、混乱することがあるというお話だと思いますが。

市民 魚市場の管理事務所の人に聞いたら、前に混乱するのを防ぐためにね、ある学校に「この日が空いてますからこの日に変えられますか」となって「変えます」となったんだけど、その日がまたいっぱいになっちゃって文句を受けたということなんです。だから魚市場管理事務所の職員の話を聞いていると、やっぱりこのままもう少しやっつけてもらわないとしょうがないかなということなんです。

- 市長 それは私の持ってきた市場管理事務所の回答にも同じようなことが書いてあります。同じことが書いてありますけど、多少整理すればいいじゃないですかね。という風に私は思っているんですよ。今まで掲示板の、電光板の前に子供たちを座らせていたんですって？
- 市民 そうですね。
- 市長 今は別のところに部屋が用意してあるんですよ。
- 市民 1 部屋、仲買人さんの控え室だったところを空けていただいて、そこで今お部屋に入れて椅子はありません。椅子は逆に無い方がいいと思うんです。140 人とか 150 人とかっていう学校もあるわけで、椅子だと座りきれないので。なので、担当の方がモップで綺麗に掃除をしていますので、直接体育館座りをしてもらって子供たちに楽しんでもらうようにしています。
- 市長 電光板の前で座って話を聞いているというので、すぐに部屋を用意しろって言ったんですよ。たまたま部屋が空いていたというか使える場所があったので。
- 市民 それとアナウンスの声とかがね、聞こえちゃうんですね。掲示板のところだと。お部屋のところだとちょっと暑いんですけど、閉めちゃえば音が入ってきませんし、子供たちも集中して聞いてくれるんです。
- 市長 市場でまぐろが並んでいるのを見れば、応援のお手紙をいただいているみたいですよ、子供たちもみんな感動しますよね。
- 市民 本当にたくさん頂いているんです。学校から。魚市場の皆さんにとって書いてあるんですけど、ボランティアガイドにお礼という形でね。
- 市長 市場の人だと思っちゃうんでしょうね。
- 市民 そうなんです。市場の人だと思っちゃうみたいなんです。ですから、本当に子供たちは大事にしていきたいなと思いますんでね、せっかく来るんだからいい具合にしっかりと見て帰ってもらえるようなシステムづくりが出来れば一番良いのかなと思いますけど。
- 市長 分かりました。これはご意向も踏まえて魚市場の方と協議します。

次に、加工場の見学をしたいそうなのですが、ここは施設も古いし、見学スペースを作るとなると、食品衛生上の摘要が必要らしいんですね。なので個別にどうしても見たいっていう人があったら、相談を受けますというスタンスみたいです。早く衛生管理の行き届いた加工施設を作る必要があるっていうのを業界にも言っています。トレーサビリティ（Traceability）っていわゆる獲ってきたところとか加工者とかをきちんと記録する仕組みがあるんですね。それが徹底されていないと。市場なんかも昔はオープンで、コンクリートの上にマグロを並べてたじゃないですか。今はちゃんとすのこをひいて、シャッターも閉めてというのは少し進歩はしてるんですね、やっぱり中にいる人は危機感を持っているから。だから加工施設は県外からの見学だとか公式の視察なんていうのがあると、きちんと行き届いてる城ヶ島の三重県漁連の工場を見てもらったりとか、という風にしてるんです。それが実態なんですよ。加工場もきちんとした綺麗な加工場にすべきだよっていう話をしながら業界の人たちにプレッシャーをかけて移転してもらおうような動きをしよう、ということで二町谷の準備をしています。そんな状況です。だからもしどうしても見たいということであれば、事務所の方で対応するとは言っていますので、個別にご相談いただいた方がいいかもしれません。

市民 今その件でね、私が思っているのはね、インフルエンザがあるでしょう。そういうことがあるから無理かなと思っているんです。

市長 だから今はなにしろ隔離されていて、帽子被って長靴はいて白い服着て、ちゃんと手を洗って入ってという施設じゃないと加工施設とは呼ばれないんです。そんな状況です。

市民 小学生に何度か見せてあげたんだけど、見せるとやっぱり「おー！」とびっくりしてくれるんですね。

市長 子供たちはそういう疑問って持たないですからね。大人は別の目で見ちゃうんですよね。

市民 そうなんですよ。今市長のお手元にある御礼状をいただいた小学校には、二度ばかり見学させていただいてるんですよ。子供たちはすごい「わ〜！」って興味深く見ていたので、見学についてはどうかなと思ったんですが、分かりました。

市民 今お話がありました三重県漁連、そこは見学は大丈夫なんですか。

市長 できますよ。ただマグロじゃないんですよ。

市民 4年生を中心にマグロの研究、要するにマグロを研究テーマにしている学校が多いみたいですね。だから見学も多いですよ。だから最初からっていうのを見たいみたいなんですよ。

市民 生徒には大きいマグロもいれば、小さいマグロもあがって来るんだよと、腹を割くとビニールがいっぱいお腹の中に詰まっていると。だからそういうことも、「皆さんビニールを捨てないでよ」というようなことも言うしね。美味しそうだったでしょう。だから今度はお父さんお母さんと一緒に三崎に来てマグロをいっぱい食べて買ってってよってことも言ってて、それも一つの宣伝かなと思って言うてるんですよ。

市長 良いですね。二町谷のコンセプトっていうのがあって、「獲る」、獲るが一番ですね。それと「観る」、「食べる」というコンセプトです。

市民 ですからその「観る」ということですね。

市長 その「観る」をコンセプトに開発を、企業の誘致をしようということで、今準備をしてるんですね。何しろ二町谷は土地が高いから、まず土地の値段を下げなくちゃいけないということで、三浦市民の皆さんには大変申し訳ないんですけど、かなり借金を背負ってしまいます。50億位借金を背負ってしまうんですけど、そうしないとあそこは処理が出来ないんです。それは私の施政方針でも出していますから。それを何とかする手品のようなことは出来ませんのでね、まず土地の値段を下げて、企業に進出してもらって、今みうら漁協なんかも色々考えてるので、連携をしてやっていこうということで徐々に段取りをしています。土地開発公社っていうのはあそこに土地を持っていて、その土地を処分するのは大変なんですよ。毎年2億ずつ利息を払っているんですから。

市民 今度は市長がみんなトップになるんですか。

市長 開発の方は違いますよ。あれも役所だから。土地開発公社は副市長がやっています。あれも法に基づく会社なので、市の業務しか出来ないところなんですね。

市民 やっぱ道路でも個人でも同じだけど、土地を活かして収入を得ないと、税金を払えないからね。

市長 そうですね。今はかかっているお金で土地の値段を出しているから、平米 10 万円なんですよ。坪 30 万円。市は二町谷の土地を坪 30 万円売らないと赤字になっちゃうから。でも今実際実勢価格っていうのは坪 17 万円とか、高くても 20 万円。そうすると坪 10 万円下がるとすると、9 億円くらいの償却をしなくてははいけないんです。ようするに損切りをしなければいけない。そうすると全部やったら 40 ～50 億円、市が損失を補てんするんです。そうしないと売れないんです。これはもう歴史の結果だから、それをとやかく言っても仕方ないんですよ。だから損切りしてでも企業に出てもらって、税金が上がって、というような方向に今方向転換しましたので、あそこはキーになりますよ、これからは。

市民 いずれにしても、子供たちがここに住んでくれるような…

市長 仕事があるようにですね。
それでは海業プレイスの話ですが、先ほどもお話したように地元の商店との一般飲食店その他レストランのような利用をしないということを文書を取り交わしているんです。当時の市長が。これを破棄するというのは大変な仕事なので、理解を求めながら、徐々に海業プレイスの活用というものを進めていきます。ご飯を食べたりというのはちょっと無理があると思うんですね。なのでレストスペースとかデッキを使ってコーヒー飲んだり、ビールを飲んだりっていうのはその位やっても良いと思ってるんです。それも含めて、体制も変わりましたので、新たな展開に向けて取り組むような準備をしています。当時は相当揉めたらしいんですよ。私も話を聞いておりますけど。何とか雪解けをして、できるようにしないと、下町の商店街の人たちもね、困っちゃいますから。

市民 この間、ある方とお話をして、下町は誰も反対してないよと言うんですね。むしろ城ヶ島の人がね、うらりは年中観光バスが来て賑わっていると、おかげで城ヶ島は全然人が来ないよというように、だいが城ヶ島が心配しているよという話はしていましたね。

市長 それはごく一部の意見ですよ。根強い反対はありますよ。徐々にこれをやっていかないといけないので、私が社長になって、体制も一部入れ替えてやりますので、解決できるように、これは鋭意努力させていただきたいと思います。

市民 期待をしています。

市長 それで、あとは、城ヶ島のマンションの計画についてですが、今は止まっています。まだ事業者から「やめた」という話にはなっていないんですね。計画の変更というのは出ています。全体の 141 戸だったのを 78 戸、階数を 14 階だったのを 11 階、高さを 46.48 メートルだったのを 33.88 メートルに変更するという話は来てますけど、それ以後は何の動きも無し。島民の皆さんの 8 割は反対をしていますので、市としてもこれを認めるというわけにはいかないんですが、建築基準法などの法要件は整っているんで、やろうと思えばできる場所なんです。あれは不思議なことに、橋を下りて、左に水産試験場とかあるじゃないですか。あっちはマリーナになってるでしょ、今マンション建てるってところ。あそこだけ風致がかかってないんですよ。風致がかかってないっていうのは要するに建物を建てられる場所なんです。それ以外は城ヶ島は全部網がかかってるんです。あそこだけかかってないんです。

それと景観条例というお話もあったので、景観条例だとか高さの高度地区の指定というのも土地計画上の手続きをするということで平成 22 年度までに準備をして、23 年度以降に、景観条例だとか高さの制限というのを入れていこうという準備を今しています。それでやっぱり私の考えは、地域全体では高い建物はいらないと思ってるんですよ。かえって海っぺらに高い建物があっても邪魔だし、景観上問題があると思ってるんですけど、駅の周辺地区っていうのはね、ある程度の高度利用が必要だって考えなんです。そうするとね、高さを反対するご意見は非常に多くて、ぶつかるんですよ。だけどこれから人口を増やしたりっていうことを、人がどんどん減っていく中でいろいろな開発をするために宅地造成っていうのはある程度限界があるので、マンションも必要だと思うんですね。ただ色んなところに何でもマンションを建てるっていうのはおかしい話なので、例えば駅周辺区域っていうのはね、ある程度の高度利用が必要だという考えは出していくつもりなんです。多分かなりぶつかると思いますけどね。

市民 市長の住んでおられる地域の人たちはかなり（反対に）積極的ではないでしょうか。

市長 確かに高すぎるっていうのはあるんですよ。あの高層マンションは、138 メートルですから。

市民 あれは結局どうなったんですか。

市長 あれはもう取り下げちゃいました。だから駅前の整備も全部止まっちゃいました。実は開発のマンションを作ってもら、京急がマンションを作ると駅前の一

体も整備してくれるんですね。そうすると駅前も整備されるし、綺麗になるし、三浦市の玄関口になるので、観光情報の情報センターも作りたいし、今南下浦市民センターでやってる行政事務の手続きも駅前に持って来て、例えば土日にとかね、そういうような展開もできるし、そういうスペースは京急も確保してくれるということになっていたんですよ。でも話が潰れちゃって、また先延ばしになっちゃいました。だけど京急はやっぱり300戸作らないと、あそこで110億投資するんですよ、そうするとどうしても300戸の個数が必要なんですね。そこであんな高い形を出してるんですよ。だけど鉛筆形に高いから、日照なんかも広範囲に渡らないし、その方がいいだろうと。本当はもうちょっと低くて、どてっとした建物でも良かったんですよ。それだと日照の時間が少なくなる世帯が出ちゃうので、鉛筆形の建物を考えたんだけど、高さに反対というご意見が非常に多くて、一旦は断念しました。そのような動きになります。

市民 人口も増やさなきゃいけないし、建物の高さは低くしなくちゃいけないし、平行線だ。

市長 あくまで一程度の理解は求めていると思っています。だけどどこでも何でも高い建物を認めるなんていうつもりは無いので、三崎の地区なんかはね多分網をかけると思います。

市民 今市長さんが仰ったように、駅っていうのは色んな意味合いで一番人が集まる所じゃないですか。ですから今度の選挙の期日前投票を駅に置いたっていうニュースをやっていて、すごいなと思いました。やっぱりあそこは通勤の方、通学の方がいらっしやいますよね。その方たちがちょっと投票が出来る。だから駅を利用していくという方向が大事だと思います。

市長 だから駅前に託児所を作るっていう話も段取りしようと思っていたんですよ。色んなことをやろうと思ってたんですけどね。

市民 観光案内もあそこに持って行ったりね。

市民 本当は駅前にあって、そこでいろいろできればね。

市長 そんな状況ですよ。城ヶ島のマンションは、今は止まってますけど、まだ新たな展開にはなっていないんですね。

市民 ぜひ会議してもらいたいですね。

市長 我々も事業者の方と相談したいと思ってます。持っている会社が破たんしちゃったんですよ。会社が潰れちゃいましたから。だから銀行は多分処分の対象の時にまた新たな形になると思いますよ。初声も、事業を何とか再開したいという意向はあるんですけど、なかなか厳しい状況でございます。他に何かありますでしょうか。

市民 イベントの時からにですね、駐車場を無料っていうようなことはどうなんですか。あの朝市なんかをやると海業公社のところは無料になるんだけど、他のイベントでも車で来るとね、皆さん「駐車料金取るの」という意見もだいぶあるのでね、そういうところも検討してもらいたいですね。

市民 夜市の時もね。

市長 夜市はどうでしたか。

市民 だいぶ人が多かったみたいです。

市民 それから小学生が来た時にね、駐車料金 1,200 円取るんですよ。前は半分だっけ言うんだけどね。だからそこら辺もね、小学生の場合はいても 1 時間か 1 時間半なんです。それもどうかと。バスですね。

市民 魚市場を見学する時もですか。

市民 そうですね。

市民 前の駐車場があるじゃないですか。あそこに入れるんですけど、今料金が高くなっているみたいなんです。エージェントが入っているもんですから、エージェントが入らないで学校が直接バスをチャーターして来るっていう学校も結構多いんですが、1 時間もいないんですよ。できたら学校位は半額位にしてもらいたいなと私たちは思うんですけど。

市民 県でやってた時には 500 円か 600 円だったでしょう。それが海業になってから 1,200 円になっちゃったんですよ。

市長 何ともお答えできませんね。

市民 そこらへんも一つどうかなと思っているんですよ。

市長 エージェントが入っていればもらえるんですけどね。もらえるところからはもらわないと。

市民 そうですよ。

市長 駐車料金の話はですね、駐車料を払って停めた方が安心だよって言う人もいるし、何で金取るんだと言う人もいるし、千差万別なんですけどね。

市民 別に学校側からクレームがついたわけではありません。

市長 ところで黄色のジャンパーやオレンジ色のものは着ているんですか。

市民 夏はこれ（ポロシャツ）なんです。

市長 これはどうしてるんですか。

市民 これは制服ですね。

市長 お金は。

市民 個人で。

市長 個人で出してるんですか。

市民 会の方から何とかねん出をしまして、安い所で。全部会が出しているわけではなくて、ジャンパーは会で、シャツの方はちょっと個人負担をしたりという形です。

市長 市はたくさんは補助金を出せないんですけど、ご要望があったら対応いたしますので。

市民 ジャンパーはもう 5～6 年着ていますので、もう色が変わってきていますから、そろそろ買い換えないといけないとは思っています。そういう援助をしていただ

けるならありがたいですね。

市長 観光課長とよく相談してですね。
それではありがとうございました。

事務局 それでは時間になりましたので、トーク&トークを閉会いたします。みなさま本日はありがとうございました。

※ 公表については了承を得ております。